

『ナーシングエイド研修』 研修会実施報告

医療安全・BLS 研修

- 日時 : 1) 令和元年6月18日 2) 令和元年6月26日
対象者 : ナーシングエイド 介護福祉士
参加者数 : 36人
目的 : 1) 医療サービスの提供者として、KYT (危険予知トレーニング) やインシデントレポートの重要性を再確認し、実践する
2) 急変発見時の初動が的確にできる

<講師の紹介>

医療安全対策室 副看護局長
4 B 病棟 介護福祉士
3 A 病棟 看護師
2 B 病棟 助産師



<内容>



研修の前半は医療安全についての研修でした。KYT (危険予知トレーニング) ではKYTの重要性、アクシデントは1つの要因だけではなく、多くの要因が重なった時に発生しやすい。危険の対象は患者だけではなく、私たち医療従事者全員が対象であるということを学びました。ナーシングエイドには今後、患者への対応姿勢を改めて確認し、危険因子を排除するための感性を高めてほしいと思います。

後半のBLS研修では、胸骨圧迫を行う際のポイント (位置、深さ、早さ、リコイル) に注意しながら、人形を使い繰り返し実施する事ができました。また、急変時には早い

時間での人、物を集める事の重要性も学ぶこともできました。BLS研修に昨年より参加されている方からは昨年より手技が上手に行えたとの声もあり、継続して行う事の重要性を感じました。今回の研修内容を今後の業務にも活かしてほしいと思います。